

よしだ まさみ
吉田 雅美さん（よしだ歯科勤務）
1994年度3次隊 青年海外協力隊
派遣国：コートジボワール 職種：助産師
2020年11月1日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

妊婦や子に優しい村に

今年「国際看護師・助産師年」。ナイチンゲール誕生200年にちなみ制定された。コートジボワール助産師会と共同で、メッセージ「最初に出逢う私たちは、あなたの素晴らしさを知っています。いつも健康と幸せを願っています」を届ける活動をしている。

二十数年前、青年海外協力隊助産師隊員として派遣国の保健センターに赴任した。妊婦や子どもに優しい村をつくるには村総出の取り組みが必要で、「いかに住民を巻き込むか」が鍵だった。事件の連続の日々。月明かりの下、おしゃべりや踊りの輪

に交わり過ごす中で、伴走者として信頼を築くことの大切さを学び、一緒に新たな生活を編み出していくことに奔走した。この経験は「出逢いの瞬間の記憶」として、困難な状況に遭遇しても前を向こうとセンサーが働き、挑戦し続ける勇気を今でも与えてくれる。

帰国後は健康社会学を学び、世界保健機関（WHO）ヘルスプロモーションの理念、健康と幸せを追求したまちづくりの活動を模索してきた。ふくやま子どもフェスティバルでは青年海外協力隊広島県OB会と協力し、世界へ目を向けてもらえる機会を提供した。

また、駐日コートジボワール大使の出生地の子どもと福山市の子どもたちとの「竹あかり」を通じた文化交流も実現した。総合的な学習の時間に郷土を学び福山城あかりまつりに参加した子どもたちの、「まちに明かりをとすことの意味を世界の人と考えたい」との願いに、大使が共感したことがきっかけだった。未来を担う子どもたちの想像力は素晴らしい。共に学び築いていく力を信じ次の物語につなげたい。



ふくやま子どもフェスティバルを訪れた駐日コートジボワール大使夫人と、子どもボランティア